

各部の名前

<上面>

1/4-20UNC 取付ねじ穴 (深さ 5.5 mm)

<側面>

レンズ

スライドカバー

TELE ボタン U1134 U1114

WIDE ボタン U1134 U1114

<底面>

1/4-20UNC 取付ねじ穴 (深さ 5.5 mm)

<後面>

ネットワーク端子 (RJ45)

ワイヤー取付穴

INITIAL SET ボタン (初期化ボタン)

LINK ランプ

ACT ランプ

■ランプ

メモ

- ランプの点灯/点滅はソフトウェアの設定で常時消灯にすることができます (初期状態は点灯/点滅)。設定については「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

LINKランプ	ネットワーク機器と通信可能になったとき	橙点灯
ACTランプ	カメラがデータ受信時	緑点滅 (アクセス中)

■ボタン

- INITIAL SET ボタン (初期化ボタン)
本機を初期化する場合は、以下の手順で実施してください。正常に起動しない場合は、もう一度やり直してください。

電源を切る → ボタンを押しながら電源を入れる* → 15秒 → ボタンを必ず離す → 約2分 → 本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます

*初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

- TELEボタン
ボタンを押すと、ズーム (倍率) を「望遠」方向に調整します。
- WIDEボタン
ボタンを押すと、ズーム (倍率) を「広角」方向に調整します。

Step3 固定する (取付方法に合わせて固定する)

Q180

[1] ロックレバーを緩めて雲台を解除する。

[2] カメラの取付ねじ穴にねじ山を合わせ、雲台を矢印の方向に回してカメラ本体を取り付け固定する。

重要

- 必ず雲台を回して固定してください。カメラ本体を回すと雲台に大きな負担がかかり、破損するおそれがあります。

[3] ロックレバーを締めて雲台を固定する。

Q181

[1] ロックレバーを緩めて雲台を解除する。

[2] カメラの取付ねじ穴にねじ山を合わせ、雲台を矢印の方向に回してカメラ本体を取り付け固定する。

重要

- 必ず雲台を回して固定してください。カメラ本体を回すと雲台に大きな負担がかかり、破損するおそれがあります。

[3] ロックレバーを締めて雲台を固定する。

Step4 ケーブルを接続する

重要

- 本機に電力を供給できるデバイスは、PoEハブまたはPoE給電装置です。
- ケーブルを接続する前にシステムの電源を切断しておいてください。

100 m 未満

Ethernet ケーブル (カテゴリ 5e 以上、ストレート、4 対 (8 芯))

Step1 準備をする

落下防止ワイヤーを取り付ける。

以下はカメラ取付台 (壁面用) WV-Q181 を使用する場合の落下防止ワイヤーの取り付け手順です。カメラ取付台 (天井用) WV-Q180 の場合も手順は同じです。

① 落下防止ワイヤーの輪の部分を折り曲げます。

② 落下防止ワイヤーの輪の部分をワイヤー取付穴に通します。

③ 輪の部分にワイヤー金具を通します。

ワイヤー金具

Step5 調整する

[1] カメラの電源を入れる。

[2] サポートウェブサイト <管理番号: C0123> にある説明に従って、IP 簡単設定ソフトウェアをダウンロードして起動し、ネットワークに接続する。

[3] カメラの向きを調整する。

① カメラ取付台のロックレバーを緩めます。

② ネットワーク上の PC 画面を見ながら、向きを調整します。

③ 向きを調整したあと、しっかりとロックレバーを締め直します。

Q180

ロックレバー

360°

90°

Q181

360°

90°

ロックレバー

重要

- カメラの向き調整は、必ずロックレバーを緩めてから行ってください。ロックレバーを締めたまま調整を行うとカメラ取付台に無理な負荷がかかり、破損の原因になります。

U1134 U1114

[4] カメラのズーム倍率を調整する。

① スライドカバーの凸部に指をひっかけ、スライドカバーを開きます。

② 画面を見ながら、TELE ボタンと WIDE ボタンで画角を調整します。

③ 画角を調整したあと、スライドカバーを閉じます。

スライドカバーの凸部

スライドカバー

WIDE ボタン

TELE ボタン

メモ

- TELE ボタン、WIDE ボタンを離してから約 3 秒後に、自動でオートフォーカスが実行されます。オートフォーカス実行中はカメラに触れないでください。
- 解像度を 640 × 360 より上に設定している場合は、ズームの倍率によって画質が劣化することがあります。詳細はサポートウェブサイト <管理番号: C0124> を参照してください。

Step2 設置面を加工する (取付方法に合わせて加工する)

共通

- カメラとカメラ取付台の一番低い部分を取り付け後に 2 m 80 cm 以上になるように取り付けの高さを決めてください。

Q180

[1] カメラ取付台 (WV-Q180) 付属の設置用型紙を使って設置面に穴をあける。(ねじ穴 4 か所)

83.5 mm (広い)

66.7 mm (狭い)

φ 120 mm

取付穴 4 - φ 7 mm

前方向

[2] カメラ取付台 (WV-Q180) を設置面に取り付ける。(最低引抜強度: 562 N (57 kgf) 以上)

カメラ取付台

固定用ねじ (M6) 3本 (現地調達)

この穴のみ固定用ねじを取り付けなくてよい。

Q181

[1] カメラ取付台 (WV-Q181) 付属の設置用型紙を使って設置面に穴をあける。(ねじ穴 4 か所)

66.7 mm (狭い)

83.5 mm (広い)

φ 120 mm

取付穴 4 - φ 7 mm

↑上方向

[2] カメラ取付台 (WV-Q181) を設置面に取り付ける。(最低引抜強度: 724 N (74 kgf) 以上)

カメラ取付台

固定用ねじ (M6) 4本 (現地調達)

[5] 落下防止ワイヤーを設置面に固定する。

Q180

ワイヤー金具を、固定用ねじでカメラ取付台に共締めします。(最低引抜強度 562 N (57 kgf) 以上)

カメラ取付台

ワイヤー金具

固定用ねじ (M6) 1本 (現地調達)

Q181

落下防止ワイヤーを十分な強度がある部分に固定します。(最低引抜強度 724 N (74 kgf) 以上)

落下防止ワイヤー